

シロキサン架橋型
アクリル樹脂

アクリット8SQ / ATW / CTWシリーズ

アルコキシシリル基を導入していますので、ガラス基材への密着付与材及びバインダーとしてご使用頂けます。

特徴 Advantage

- 1 ポリマー中にアルコキシシリル基を導入しているため、各種ガラス基材への密着性に優れます。
- 2 組成やアルコキシシリル基の量を変更することにより、物性(硬度, 密着性等)の調整が可能です。
- 3 水系タイプ(エマルション)はアニオンタイプとカチオンタイプがあります。

構造図 Schematic structure diagram

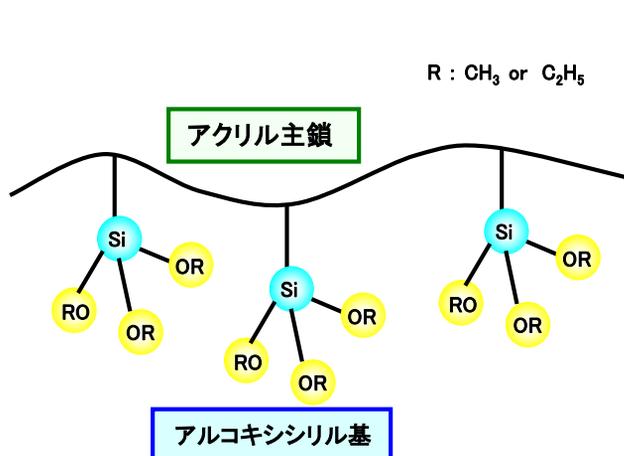


図. 1 8SQシリーズ(溶剤系タイプ)構造図

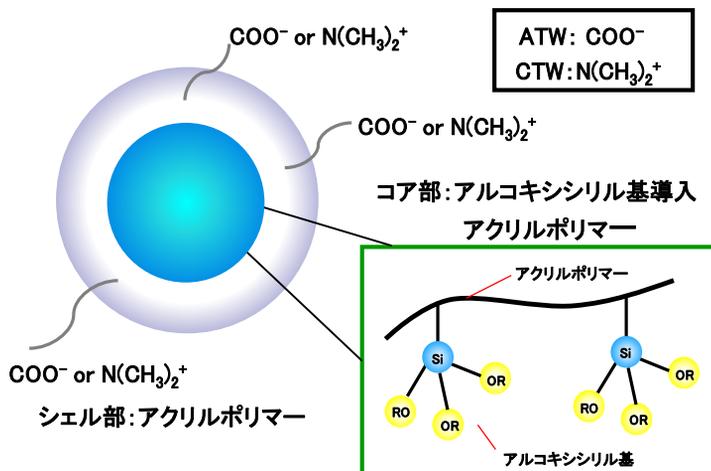


図. 2 ATW/CTWシリーズ(水系タイプ)構造図

8SQシリーズ (溶剤系タイプ)	不揮発分[%]	粘度[mPa·s]	重量平均分子量 (Mw)	アルコキシシリル基 導入量	溶剤組成
8SQ-1020	49.5±1.0	300±200	38000	Rich	MIBK
8SQ-1100	49.5±1.0	950±300	12000	Poor	PGM

* 不揮発分[%]=150℃/2時間 粘度[mPa·s]=BM粘度計(25℃) 溶剤組成=MIBK:メチルイソブチルケトン、PGM:メトキシプロパノール

ATW/CTWシリーズ (水系タイプ)	不揮発分[%]	粘度[mPa·s]	PH	イオン性
ATW-008S	29.5±1.5	105±95	8.0±1.0	アニオン
CTW-113S	30.5±1.5	105±95	4.0±1.0	カチオン

* 不揮発分[%]=105℃/3時間 粘度[mPa·s]=BM粘度計(25℃)
参考データであり、保証するものではありません



8SQシリーズ配合例 8SQ series Blending example

アルコキシシリル基の加水分解を促進する触媒(非スズ系, スズ系, 酸等)を併用して十分エージングすることで、空気中の水分と反応して硬化し、強固な塗膜を形成します。

塗料化例:主剤+促進剤1 or 促進剤2

主剤配合例: 固形分約30%	配合例	100%配合
8SQ-1020[固形分約 50%]	60.00	61.22
MKCシリケートMS56(メチルシリケート)	2.00	2.04
MIBK	16.00	16.33
IPA	20.00	20.41
	98.00	100.00

※MKCシリケートMS56:三菱化学株式会社製 ※MIBK:メチルイソブチルケトン IPA:イソプロピルアルコール

促進剤配合例1	配合例	100%配合
非スズ系促進剤	0.40	20.00
IPA	1.60	80.00
	2.00	100.00

促進剤配合例2	配合例	100%配合
スズ系促進剤	0.20	10.00
IPA	1.80	90.00
	2.00	100.00

8SQシリーズ硬化条件 8SQ series Curing condition

促進剤を添加することによって、経時で空気中の水分と反応して硬化し、強固な塗膜を形成します。また、養生後に加熱することでシロキサン架橋が進み、より強固な塗膜になります。

塗料化条件:主剤+促進剤1 or 促進剤2 (上記の配合例参照)

養生条件:27°C 60%RH 膜厚:dry5 μm 基材:ガラス板

養生期間	養生のみ		+加熱(105°C×10分)	密着性
1日	HB	→	2H~3H	○
2日	H~2H	→	3H~4H	○
3日	3H~4H	→	4H	○
4日	3H~4H	→	4H	○
1週間	4H	→	5H	○

※参考データであり、保証するものではありません



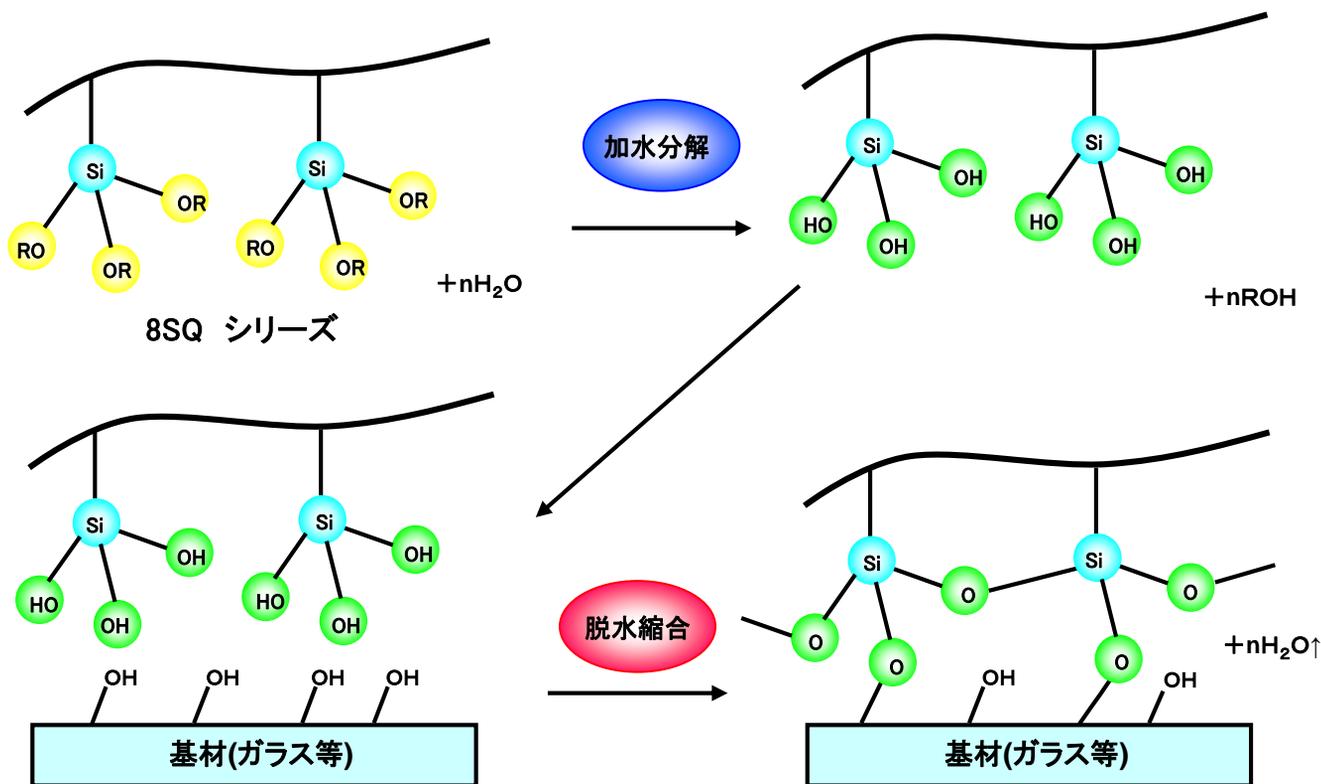
8SQシリーズ評価項目表 8SQ series Technical data

		密着性					鉛筆硬度	耐水性
基材	ガラス	PMMA	ABS	PC	PET	ガラス	ガラス	
	○	○	○	○	×	3H~4H	○	

※養生条件: 27°C 60%RH 3日 膜厚: dry5 μm
 ※参考データであり、保証するものではありません

8SQシリーズ反応機構 8SQ series Reaction mechanism

アルコキシシリル基を持った8SQシリーズは、空気中の水分と加水分解、脱水縮合を起こすことで自己架橋し、硬化します。
 また、無機基材(ガラス等)への密着に優れます。



8SQシリーズ用途例 8SQ series Application example

